

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R8年 3月 6日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R8年 3月 6日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R8年 3月 6日		～ R8年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが定期的に登園するため、園での様子の把握や状況が伝えやすい環境にある。	お互いの園での様子の共有を積極的に行うとともに、各園での役割を踏まえ、できることを話し合っていくようにした。	訪問頻度を調整する（増やすなど）ことや定期的に情報共有することで、園、幼稚園保育園、保護者で意識共有を図る。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の人数が少ない	訪問員が兼務ということもあって、サービスを知らない方もいて、なかなかサービスを広げることが難しかった。	鎌倉市の指定管理を受けた事業所として、利用児を卒園生にも広がるようサービスを十分周知し、必要な方がサービスを受けられるように努める
2	訪問先で過ごす時間が短い利用児が多く、自由時間での過ごし方について話し合うことが多いため、目的意識を持ちにくかった	フォーマル、インフォーマルにかかわらず、アセスメントをする機会がなく、評価のすり合わせなどをしないまま情報共有や行動観察に入ったこと	訪問についての計画、利用児への個別支援計画などを共有し、自由時間であっても訪問先で過ごす時間についての目標を話し合っていくことが必要
3			